

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月30日

千葉県知事  
熊谷 俊人 殿

提出者

住 所 茂原市道表1番地

氏 名 茂原市長 田中 豊彦

(公 印 省 略)

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号(代表) 0475-23-2111

(川中島下水処理場) 0475-23-3128

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川中島終末処理場
事業場の所在地	茂原市早野3750番地
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類(電気、ガス、熱供給、水道業) 中分類(水道業)
② 事業の規模	下水道の処理人口 28,474人
③ 従業員数	4人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	下水処理工程 流入下水⇒濃縮槽 ⇒ 貯留槽 ⇒脱水汚泥 ⇒処分委託 (処理場内処理) (遠心脱水機) (セメント原料再利用)



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
<p>(管理体制図)</p> <p>下水道課長 (総括責任者)</p> <p>↓</p> <p>川中島下水処理場長 (処理計画作成)</p> <p>↓</p> <p>電気担当、機械担当、水質担当</p> <p>⇒ 廃棄物処理担当者</p>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	汚 泥
	排 出 量	40,992 t
	(これまでに実施した取組)	
廃棄物中の水分の減少及び固形物量の減量対策を実施した。(濃縮槽の増設、汚泥脱水機の更新等)。		
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚 泥
	排 出 量	44,933 t
	(今後実施する予定の取組)	
適正な維持管理に努めて効率的な汚泥処理を実施し、さらなる廃棄物減量・コスト縮減にむけた取組みを行っていく。		
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	沈砂、しさのみ分別を実施している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	沈砂、しさのみ分別の実施 (継続)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 平成13年度まで脱水汚泥のコンポスト化（現在休止中）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 未定		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	38,715 t	t
(これまでに実施した取組) 効率的な脱水機を使用し汚泥の減量化・省エネ運転を実施している。 ※令和元年の浸水被害により脱水が行えず、数値が計画値を大きく下回っています。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	42,439 t	t
(今後実施する予定の取組) 効率的な脱水機を使用し汚泥の減量化・省エネ運転を実施していく。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

+	① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	
		全処理委託量	2,277 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
		再生利用業者への処理委託量	2,258 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
		(これまでに実施した取組) 汚泥の減量化及び安定化を図るとともに有効利用に努めた。 ※令和元年の浸水被害により脱水が行えず、数値が計画値を大きく下回っています。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	2,494 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2,470 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 発生する汚泥の適正処理・再生利用等により、その減量に努める。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## R 5 産業廃棄物処理計画書（数値算出根拠）

(1) この書式の「現状」の部分の数値は全て同調査物の「産業廃棄物処理計画実施状況報告書」に合わせてあります。

(2) 第2面の②計画の汚泥排出量の数値は、今年度の予定汚泥数量2,470 tに、昨年濃縮槽から脱水を行った後の減少率（ $2,258 \div 40,973 = 0.055\%$ ）に沈砂し渣の予定量（24 t）を足して計算している。

$$2,470 \div 0.055 + 24 = 44,933 \text{ t (R 4 計画の脱水量)}$$
$$(44,909 + 24 = 44,933)$$

(3) 第3面の「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の①は水質日報の脱水量からセメント原料化で処理した量（委託に出した量）を引いたもの。

$$40,973 \text{ t} - 2,258 \text{ t} = 38,715 \text{ t}$$

②計画はR 5計画脱水量44,909 tからR 5計画値脱水汚泥セメント処理量2,470 tを引いたもの。

$$\text{よって、} 44,909 \text{ t} - 2,470 \text{ t} = 42,439 \text{ t}$$

(4) 第4面の「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の①現状は数字が2種類出てくる。

全処理委託量 脱水汚泥（太平洋セメントに委託した量）＋沈砂篩渣（太平興産に委託した量）

$$2,258 \text{ t} + 19 \text{ t} = 2,277 \text{ t}$$

再生利用業者への処理委託量⇒脱水汚泥（太平洋セメントに委託した量）

$$2,258 \text{ t}$$

(5) 第5面の「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の数字は $9.5 \text{ t} \times 260 \text{ 日} = 2,470 \text{ t}$ としている

全処理量は

$$2,470 \text{ t} + 24 \text{ t} = 2,494 \text{ t}$$

再生利用業者への処理委託量

$$2,470 \text{ t}$$